

# ああ、 結婚！

—婚活日記—

第24回

黒田長宏

2022年

<8月3日>

50回用の原稿を提出。毎度のことだが、今回こそパートナーを見つけなければ大変なことになる。孤独死しないための準備はもう始まってしまっているのだ。

<8月4日>

せっかく51歳の人から「いいね」がきて、私が了解すればマッチングだったのだが、どうにも実の子がいたらという意識が働いてしまい、これが一番思いやりある行為だと思っているのだが、ブロック

させていただいた。有難いことなのに、ライフサイクルを崩すとうまく行かない。

<9月4日>

なにか書かなきゃと思ってパソコンを開くとちょうど一か月ぶりである。再婚実現のために、某マッチングアプリと、YouTube「婚難救助隊」の休日ごとのアップロード、ちょっと間接的だが、SNSでの結婚難を助長するような記事への批判コメント、この3パターンを継続は力なりでやり続けている。勤務先も同じところ。その継続以外に変化はわからない。

勤務先も含めて、変化は危険である。私は歳をとり、若い頃より守りに入っている。結婚願望も守りのためなのかも知れないが、みすみす孤独死にはなりたくない。そうした抽象的な思いのまま、過ぎている。

上記のパターンの中で、変化が欲しい。

<9月25日>

締め切りまであと2か月か。某マッチングアプリと YouTube と SNS 発言の3点セットを継続している。しかし大きな変化はない。

<9月30日>

操作的、技術的なことだが、YouTubeをInstagramに紹介した。

<11月4日>

今回は猛暑の時期から過ごしやすい、長袖でいられるような変化の3か月の時期の記録であったが、昨日、だいぶ

久しぶりに女性のほうからマッチングアプリの「いいね！」が届いたものの、某有名新興宗教信者であったり、精神的に少し病んでいるなど書いていて、もう少し考慮すれば良かったのに、私の性格からその有難い人のデータを隠してしまったところ、ブロックしたわけではないが、こちらから検索しても見つからなくなってしまった。なんとも55歳になろうがどうなろうが、私の悪いパターンが出たような気がした。相手からのいいね！など滅多にないことなのだ。

このマッチングアプリが一番経済的にも仕組みも良いと思って一つだけ続けていたマッチングアプリだが、更新しなければあと5日で終了となる。あと5日しかなくなってしまった。ラストスパートで多くのいいね！をしてみたが、ここで奇跡が起きるとは到底考えられない。マッチングアプリは自信を失いかねない。

ところが、新聞には、マッチングアプリが原因の一つとして梅毒が日本で増加していると書いてあるのだ。真面目に結婚相手を探していない悪い男女が足を引っ張っているとも思えるのだ。それはパパ活や援助交際などの売買春や、不倫などの略奪、不貞などをしている男女が、結婚数をも激減させてしまったのだと私は検討づけているのだ。性風俗の店や組織化やメディアの男女関係の見せ方などもそれに類するところだ。経済的な問題だけではないはずだ。マスメディアはそこを報道しない。そこらへんがマスメディアの信用できない点の一つではある。だからこそ、自ら YouTube で、結婚の難題について出力して行くのだと決

意して続けているのだ。

YouTube の登録者は160人になった。数字が増えるのはうれしい。この数字は人の数なのだ。どこかで大きなブレイクを願いたいと思っている。調べていないが気付けば、特に参加のころにいろいろあったが、ここで連載させていただいてから3年なのか5年なのかずいぶん月日は経過するものだ。YouTube でブレイクして、私の発言力で結婚したい人が結婚できる社会にする力を持つという夢は持っていてもいいと思う。歌手やスポーツ選手だけのものではないはずだ。政治家や科学者や公務員や教育者や社長や理事だけのものではないのだ。それは何だ。夢か希望か。この世への期待だろうか。女性も科学技術がもっと進歩すれば高齢出産も安全になるかも知れないが、男性はもともと高齢化しても生命の種子の片割れは維持しているらしいのに、人間の仕組みは子孫の継続のためには男性には女性、女性には男性の協力が必要なのだ。パートナーシップというものなのだろう。それはシンプルなものであり、多様な物事ではない。有性生殖を人類は選んだのか選ばれていたのか、それは決して差別言葉ではないのに。哲学の分野では、人類が滅した後の世界の存在論をやっている人達がいるらしいのを、昨日検索していて知ったように思うが、私はこの世の存在の不思議さとともに、人類の継続は、信頼できる男女の間での教育を伴う子孫から子孫の繋がり、可能性は、人間の可能性と言えればそれまでだが、残っているのだと思っている。昭和世代の限界なの

か。私の考えでは、どうしても、人間ありきで、世界があるという所まででいいやと思ってしまうのだが、子孫なしの孤独死であるなら、なんのために生まれたのかと思う。

身体の都合などで子供を産み育てられなかった人たちはそういう理由で仕方がないことだと思えるが、私などは子供ができる状態であったのにも関わらず、55歳で子供なしである。社会は結婚難少子化が続く。どうしてこうなったのだろうか。